

入新井特別出張所管内の人口
令和6年1月1日現在

世帯数 24,121 (+40)
男 21,101 (±0)
女 20,586 (±0)
計 41,687 (±0)
()内は9月1日比

わがまち いりあらい

発行：地域力推進
入新井地区委員会
編集事務局：入新井特別出張所
〒143-0016 大田区大森北1-10-14
TEL 3761-5303

(年3回1月、5月、9月発行)



謹賀新年

輝かしい新年を迎えて

入新井地区自治会連合会 会長 鶴田 實

新春のお慶びを申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスが第5類に引き下げられ、地域行事が数年振りに開催され始め、街の賑わいが戻りつつあることを嬉しく思います。本紙でも活気ある街の様子を取り上げる機会が増え、より多くの皆様に読んでいただけたら幸いです。

また、編集部の皆様の日頃の取組が評価され、警視庁より感謝状が贈呈されるという素晴らしい功績もあげられました。次号は、記念すべき100号となりますが、引き続き編集部並びに「わがまちいりあらい」の発展を期待しております。

- 入新井一丁目東町会長 高木 利忠
- 大森北六丁目町会長 田中 靖一
- 入新井四丁目町会長 深谷 敏弘
- 山王町会長 小林 暢生
- 入新井一丁目西町会長 太田 康久
- 入新井三丁目東町会長 内野 清次
- 大森北一丁目町会長 伊藤 和弘
- 山王二丁目町会長 尾形 達夫
- 入新井二丁目北町会長 鶴田 實
- 入新井三丁目西町会長 田尻 稔
- 入新井六丁目町会長 大東 洋一郎

日本とインドネシアとの文化交流体験記 「世界一高い国立図書館で絵画展開催」

世界の中でのインドネシア

昨年は日本・インドネシア国交樹立65周年記念で天皇皇后両陛下が6月にご訪問されました。インドネシアは経済成長率5.3%、人口は世界第4位、平均年齢29歳、G20も首都ジャカルタ市で開催され、更に大国の均衡配慮で首都移転も話題となり、あらゆる面で成長を実感しました。

絵画を通じた文化交流

このような中で、半世紀以上歴史ある「日本・インドネシア美術研究会」理事として9日間(2023年8月23日～31日)首都ジャカルタにある図書館として世界一高い(123m)国立図書館で開催された絵画展に参加した貴重な体験を報告します。



国立図書館全景 24階建 (高さ世界一)

館内での美術展は初めての試みで新聞でも報道され多くの見学者が来場されました。開会式は両国の会長、図書館長、在インドネシア日本大使館星野大輔公使、日本語事業山崎貴哉氏が挨拶をされ、熱心な交流が行われました。出品者は日本20名、インドネシア34名で65作品。大田区からは(六郷地区)熊谷正、(新井宿地区)小林優子、(入新井地区)酒井敏光、石山珠会、田部隆幸の計5名が参加しました。

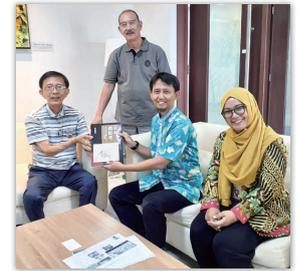
美術史から忘れられた焼絵の研究

筆者が研究している焼絵(Pyrography:キャンパス、紙に、真赤な鉄筆、電気ペンで絵画を描く手法)の拙著『焼絵考・五か国:日・中・韓・ロシア・インドネシア』2021年刊(大田区立図書館所蔵)を国立図書館へ寄贈しました。正倉院に所蔵され江戸期に再興された超絶画法の一つです。

ジョグジャカルタ市では、2015年6月NHK「おはよう日本」で「蚊取り線香アート」(陰影のぼかしに蚊取り線香等で焦し茶色の色調を描き分ける絵画手法)が放映され話題となり、欧米で知られるワワン・グニ氏と焼絵の今後について論議を行いました。



ワワン・グニ作焼絵 『ボロブドール田園風景』



国立図書館へ 『焼絵考・五か国』寄贈

図書館は教育向上と交流の場

国立図書館の作品事例を紹介します。24階建の各階は書籍のジャンルごとに分かれ、ビデオ、パソコンが整備され講習会参加者等で図書館は活況でした。日本は「ちぎり絵」体験を行い多くの方々に参加されました。参加者は知識欲旺盛で、日本への関心が高く片言の日本語が出来るのには驚かされました。

ジャカルタ市は、日本の昭和40年代と同じ高度成長真っ只中、公害で空は白く乾季でも星空は無く急速な変革を遂げつつあり貴重な体験ができました。(編集委員 田部 隆幸)



小林優子作水彩画 「古民家」



田部 隆幸作切絵 「福蛙十二支」



石山珠会作水彩画 「ザサマーブーケ」